

地質ニュース

昭和 55 年 1 月 第 305 号 1980

年 頭 所 感	佐 藤 茂	6
富良野盆地軟弱地盤地帯における表層変動(垂直変動) について	池 田 国 昭 村 瀬 正 山 屋 政 美	7
近畿地方の粘土瓦の変遷と瓦粘土 一奈良県 大阪府	小 村 良 二	20
まぼろしの天然記念物 鹿浦越のランプロファイアの岩石学的側面	氏 家 治	30
創立 35 年を迎えた九州出張所	原 田 種 成	40
地震断層の諸特徴(大塚彌之助による)	小 出 仁	46
渡辺武夫氏勲四等に叙せられる	山 田 隆 基	48
熔岩洞穴の構造と成因について	濱 野 一 彦 河 中 秀 夫 服 部 清 二 戸 沢 義 和	50
人 事 異 動		47
ステノの著作 300 年記念切手	P. Q.	49
地 質 調 査 所 の 出 版 物		39
小 諸 KOMORO	河 内 晋 平 荒 卷 重 雄	64

口 絵 富 士 山 の 熔 岩 洞 穴 濱 野 一 彦

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

地 質 調 査 所 研 究 本 館

筑波研究学園都市に建設された地質調査所の研究本館SRC造 地下1階・地上8階 総床面積25,454m² 平面的に逆“Z”字をなす3棟から構成され 中央棟(写真正面の部分)には管理部門 資料部門 電算機室 共用大型機器分析室及び研究室が配置され 左及び右翼棟には実験室及び研究室が配置されている。正面向って左手の玄関ホールは2階部分までの吹抜けで 右側壁面には日本列島の地質構造区分を模した岩石モザイク貼りが設置されている(縮尺約25万分の1 使用岩石は国産の建築石材23種類) 研究本館の外壁面は褐色系の打ち込みタイル貼りである。両翼棟の屋上には実験室からの排気を処理するためのスクラパーが設置されている。なお 研究本館の右側には深部地質実験棟・海洋実験棟・機械棟及び実験地学研究棟からなる第2研究本館 R1棟 試作棟及びその他実験棟が 左側には標本館が設置され2階の渡り廊下で結ばれている。(文 筑波計画室 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社